



GMB 株式会社

2011年3月期決算説明会資料

2011年5月25日・26日



証券コード 7214

<http://www.gmb.jp>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満切捨て記載しております。



. 2011年3月期実績

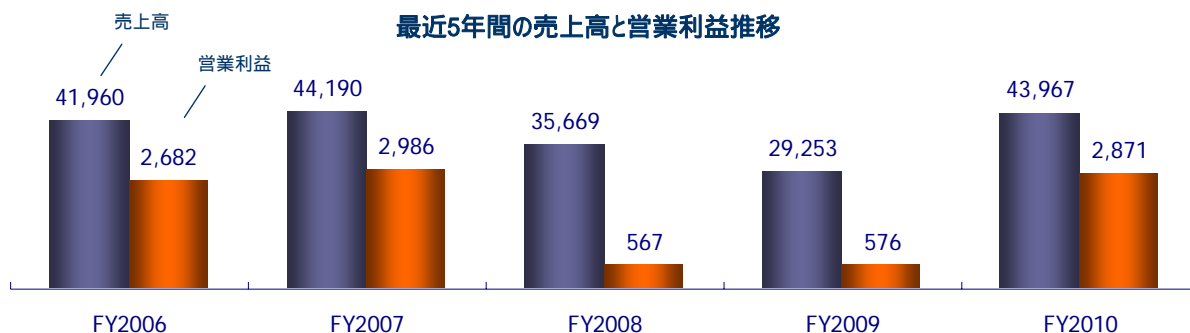
. 2012年3月期計画

. 総括 & 今後の事業戦略

2011年3月期 損益実績



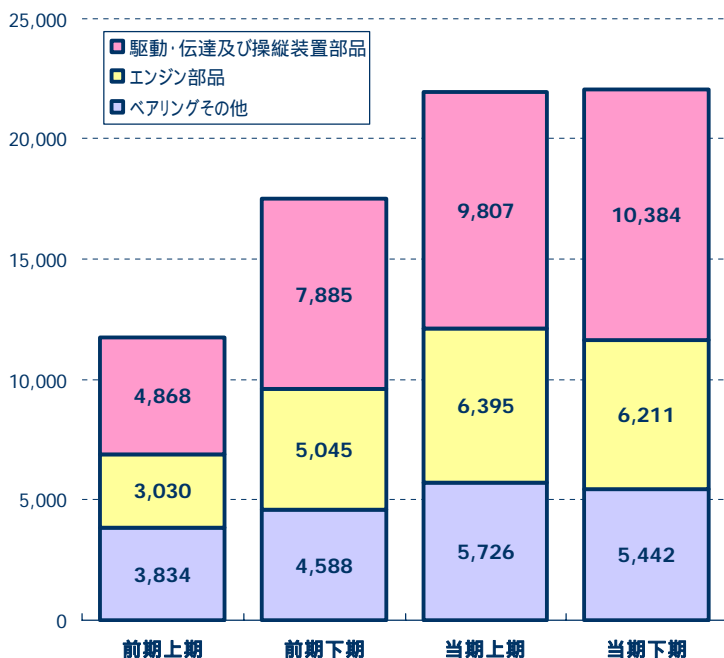
	FY2009		FY2010		前期比	
	金額(百万円)	(構成比)	金額(百万円)	(構成比)	差額	増減率(%)
売上高	29,253	(100.0%)	43,967	(100.0%)	+ 14,714	+ 50.3
売上総利益	4,826	(16.5%)	8,305	(18.9%)	+ 3,479	+ 72.1
営業利益	576	(2.0%)	2,871	(6.5%)	+ 2,295	+ 398.4
経常利益	338	(1.2%)	2,470	(5.6%)	+ 2,131	+ 629.2
純利益	75	(0.3%)	1,420	(3.2%)	+ 1,345	+1,790.4
EPS(円)	14.41	-	272.49	-	-	-



売上高の品目分類別増減（半期毎）



(単位:百万円)



1. 駆動・伝達及び操縦装置部品

韓国新車用のバルブスプールなどAT部品は完成車メーカーの好調と多段化対応で数量増、等速ジョイントも適用車種増加で、順調に推移。

欧州OEM向けユニバーサルジョイントも順調に回復。

2. エンジン部品

駆動系同様に韓国・欧州新車用ウォーターポンプが順調に推移。

米国の大手チェーンストア新規取引が通年で寄与したことに加え、東南アジアなど他の海外補修用ウォーターポンプも需要回復。

3. ベアリングその他

米国中心に海外補修用のテンショナー・アイドラー・ベアリングが順調。

セグメント実績推移（半期毎）

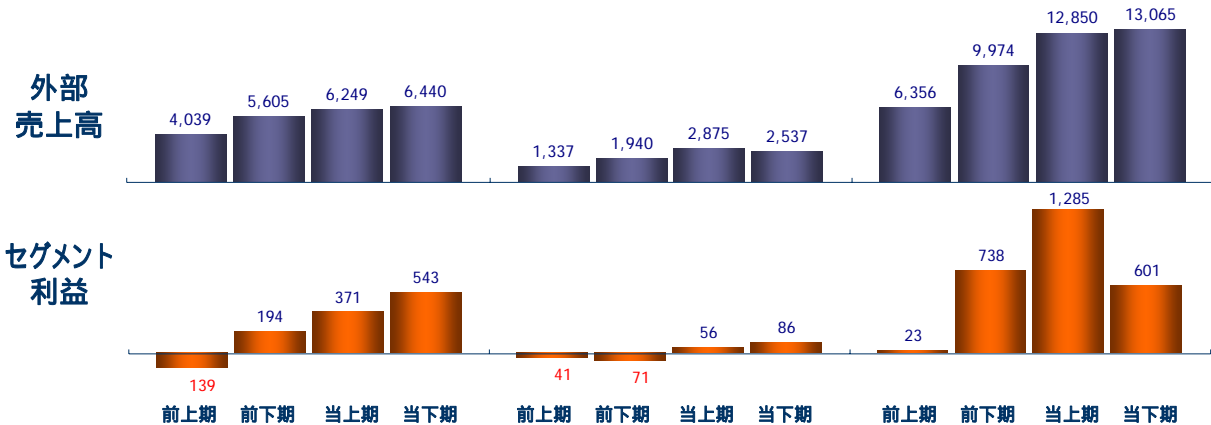


(単位:百万円)

日本

北米

韓国+中国+タイ



1. 日本

新車用・補修用部品とも順調に需要回復するなか、補修用ウォーターポンプや新車用ユニバーサルジョイントの生産フル稼働。納期対応のための輸送コストも増加するなか、稼働率改善と調達コスト削減などにより収益も改善。

2. 北米

着実な拡販により補修用ウォーターポンプ・テンショナー・アイドラー・ベアリングなどの販売増加することで、営業利益も黒字転化。

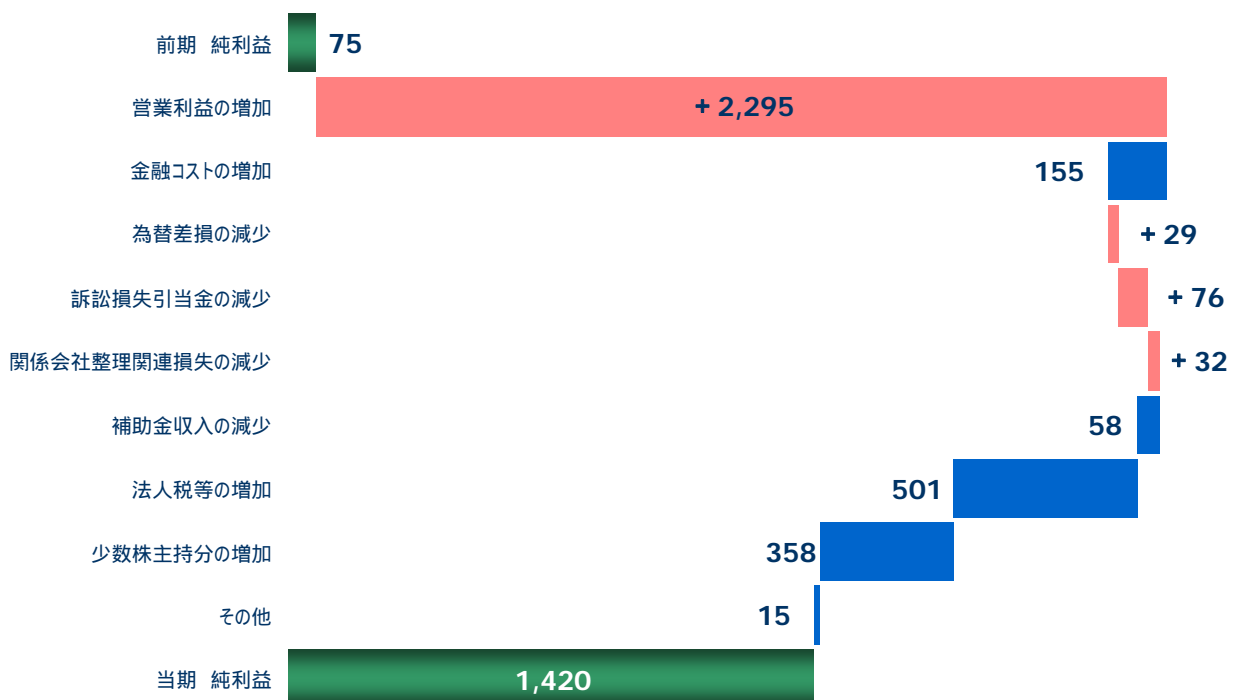
3. 韓国+中国+タイ

韓国単体は、国内・海外とも新車用需要拡大し、AT部品多段化対応の増産効果も貢献し大幅な増収増益。増収効果で利益も増加するなか、例年の下期人件費増加と期末特有の退職給付費用増加で下期減益。他の生産拠点でも日韓部品生産の稼働率改善もあり、収益改善するなかで、原材料価格上昇の影響が期末にかけて原材料価格上昇の影響も。

営業利益以下の増減要因（通期）



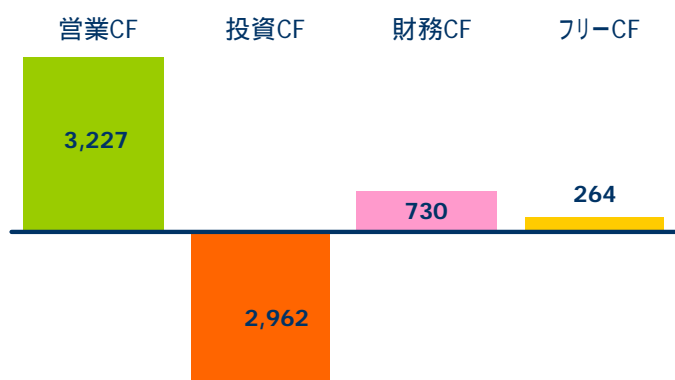
(単位:百万円)



キャッシュ・フローの実績（通期）



	前期	当期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	2,568	3,227	+ 658
投資活動によるキャッシュフロー	3,077	2,962	+ 114
財務活動によるキャッシュフロー	66	730	+ 796
フリーキャッシュフロー	508	264	+ 772



【当期の主な内訳】

1. 営業CF

税金等調整前利益	2,450百万円
減価償却費	2,297百万円
売上債権の増加	1,135百万円
たな卸資産の増加	633百万円
仕入債務の減少	289百万円

2. 投資CF

設備投資	3,296百万円
山東GMB持分譲渡	429百万円

3. 財務CF

借入金の増加	601百万円
社債の発行	500百万円

- 7 -



. 2011年3月期実績

. 2012年3月期計画

. 総括 & 今後の事業戦略

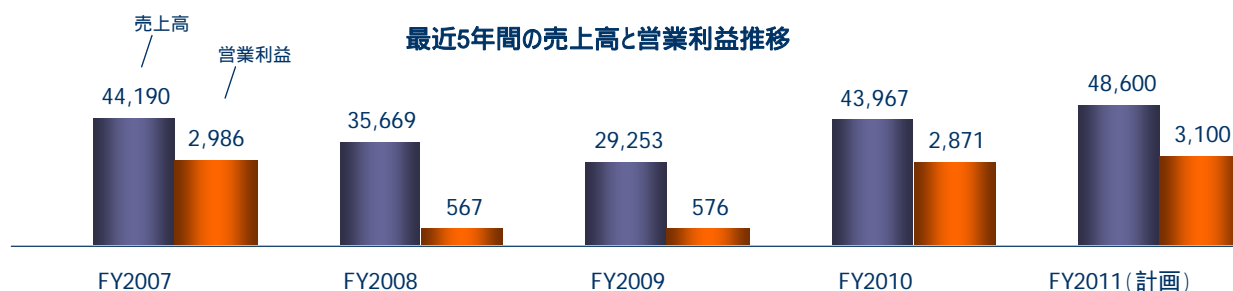
- 8 -

2012年3月期 損益計画



(単位:百万円・円)

	11/03月期 (通期実績)	12/03月期			前期比
		(1Q-2Q計画)	(3Q-4Q計画)	(通期計画)	
売上高	43,967 (100.0%)	23,700 (100.0%)	24,900 (100.0%)	48,600 (100.0%)	+11%
営業利益	2,871 (6.5%)	1,600 (6.8%)	1,500 (6.0%)	3,100 (6.4%)	+8%
経常利益	2,470 (5.6%)	1,400 (5.9%)	1,300 (5.2%)	2,700 (5.6%)	+9%
当期純利益	1,420 (3.2%)	620 (2.6%)	680 (2.7%)	1,300 (2.7%)	8%
EPS(円)	272.49	118.97	-	249.45	

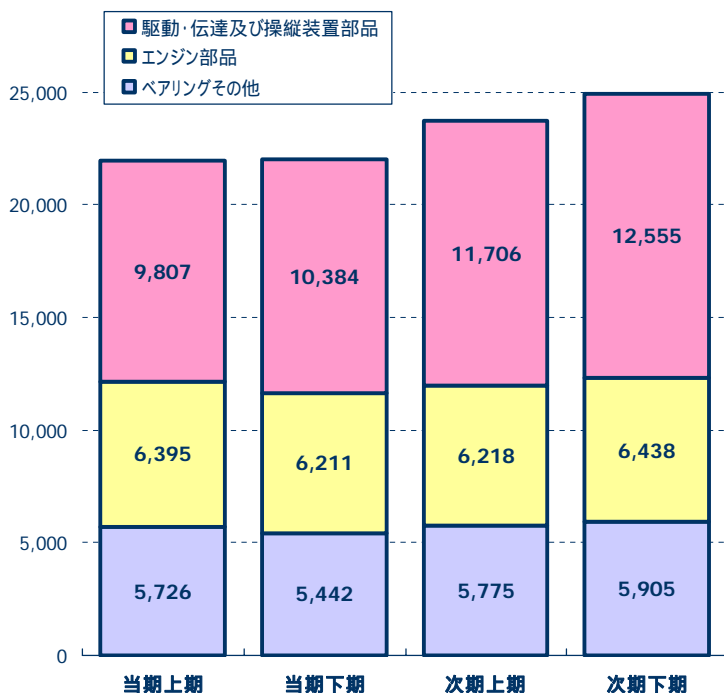


- 9 -

売上高の品目分類別計画 (半期毎)



(単位:百万円)



1. 駆動・伝達及び操縦装置部品

韓国OEM向けのバルブスプールや等速ジョイントなどの需要が引き続き順調に拡大。

欧州OEM向けユニバーサルジョイントの生産能力拡大も寄与。

2. エンジン部品

主力の補修用ウォーターポンプが横ばい～後半微増で推移。

3. ベアリングその他

テンショナー・アイドラー・ベアリングは横ばいを予想。
補修用のハブ・ベアリングの本格販売注力。

- 10 -

セグメント計画（半期毎）



(単位:百万円)



1. 日本

欧州OEMが引き続き順調に推移し、生産拠点の生産能力の拡大も寄与。素材価格の値上がりを固定費抑制と販売増加で吸収する計画。

2. 北米

主力製品が横ばいで推移する計画の中、取扱製品の拡大と、中国外注先からの調達コスト削減などで黒字定着化を計画。

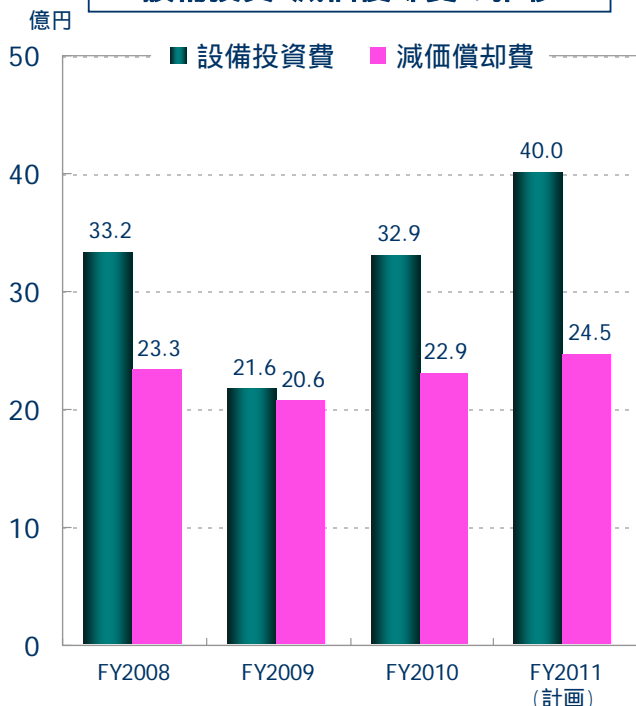
3. 韓国+中国+タイ

韓国では、好調な韓国および海外新車向け需要に対応すべく生産能力拡大継続。他の子会社含めて鋼材・アルミなど原材料価格の値上がりと償却負担増を増収効果でカバーすることでわずかな増益計画。

設備投資・減価償却費推移



設備投資・減価償却費の推移



FY2011 設備投資計画の内訳

	設備投資 (億円)	主な内容
日本	6.5	維持・合理化中心
韓国	20.0	工場増築・増産対応 ・新規開発・更新 等
中国	10.5	新工場建設・増産対応
タイ	3.0	新工場建設・増産対応
計	40.0	

主要グループ企業の計画数値



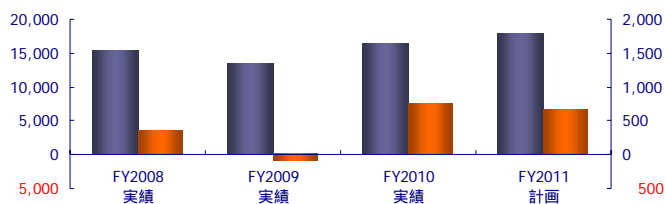
GMB (単体)

(単位:百万円)

	FY2008 実績	FY2009 実績	FY2010 実績	FY2011 計画
売上高	15,340	13,555	16,466	17,800
営業利益	349	107	748	650
換算レート	-	-	-	-

左軸:売上高

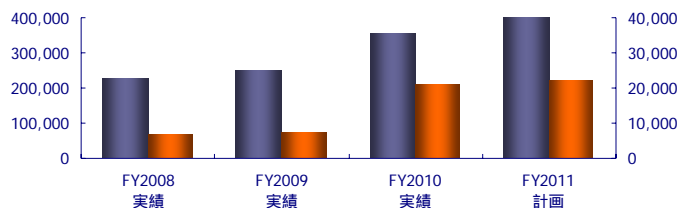
右軸:営業利益



GMB KOREA CORP.

(単位:百万ウォン)

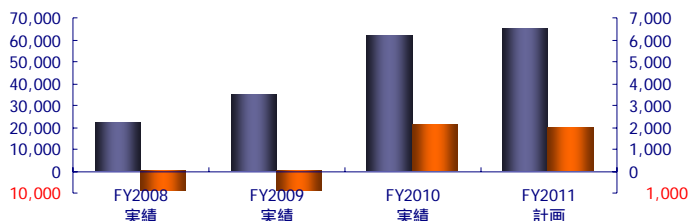
	FY2008 実績	FY2009 実績	FY2010 実績	FY2011 計画
売上高	225,952	248,954	354,597	400,000
営業利益	6,533	7,106	20,920	22,000
換算レート	0.0963	0.0736	0.0759	0.0750



GMB NORTH AMERICA INC.

(単位:千ドル)

	FY2008 実績	FY2009 実績	FY2010 実績	FY2011 計画
売上高	21,888	34,889	61,509	65,000
営業利益	906	901	2,114	2,000
換算レート	103.46	93.58	87.81	85.00



- 13 -



. 2010年3月期実績

. 2011年3月期計画

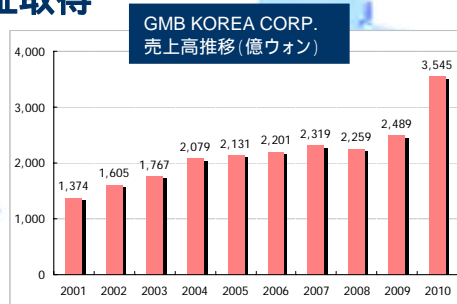
. 総括 & 今後の事業戦略

- 14 -

「リーマン・ショック越え」を果たす

■ 従来からの施策が結実

- 韓国完成車・部品メーカー向け増産対応
- 欧州OEM市場開拓
- 「一貫生産体制からの進化」(協力メーカーの有効活用)
- 米国大手チェーンストア顧客開拓
- 品質・環境マネジメントシステム認証取得



中期的な展望

さらなる発展・飛躍のために

■ 現状認識

- 世界的にリスク要因顕在化するも成長認識に変化なし
- 地産地消の加速
- 補修用市場の競争激化
- 後発企業の品質・技術のキャッチアップ
- 品質・コスト・納期・品揃えなど顧客ニーズの多様化
- 震災後一括納入のリスク顕在化

OEMマーケット(新車用部品市場)

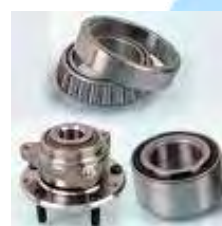
- 韓国・欧州向け製品の生産能力増強
- 現代グループの世界戦略に追随
- 電動W/Pやベアリング新製品投入
- 日系・中国民族系メーカー開拓
- 農機具・建機等技術の他業種への展開




電動ウォーターポンプ

アフターマーケット(補修用部品市場)

- 取扱レンジ強化・代理店政策で既存製品シェアアップ
- GMBブランドの活用
- BRICs市場参入
- 欧米完成車メーカーOES開拓



ハブ・ベアリング



10年以内に
売上高
1,000億円体制

世界のトップ
自動車メーカーの
すべてに納入

補修用
ウォーターポンプ
世界一

- 19 -

- 将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 本資料および当社IRに関連するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<お問い合わせ先>
GMB株式会社 経営管理室
電話 : 0745-44-1912
Email : ir@gmb.jp

GMB 株式会社

事業内容説明資料

(2011年3月期)

(証券コード : 7214)

<http://www.gmb.jp/>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満で切捨して記載しております。



目 次

	ページ
GMBの概要	2
GMBの主要取扱製品	4
生産・販売ともにグローバルに展開	5
GMBの特徴	8
GMBと韓国GMBの売上構成	10



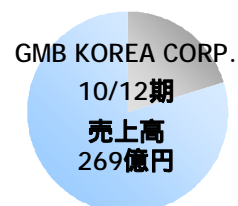
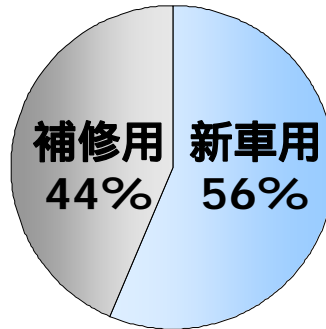
GMBグループの概要

商 号：GMB株式会社
 創 業：1943年(昭和18年)
 代表取締役会長：松岡 信夫
 代表取締役社長：南北 一雄
 所 在 地：奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3
 事 業 内 容：ユニバーサルジョイント、ウォーターポンプなどの自動車部品製造・販売
 グループ会社：GMB KOREA CORP.、GMB NORTH AMERICA INC.、青島吉明美機械制造有限公司、
 (6 社)：青島吉明美汽车配件有限公司、THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.、THAI KYOWA GMB CO.,LTD.
 従 業 員：2,546名 (単体 404名)

日韓GMBを主体に補修用部品と新車用部品に取組む独立系自動車部品メーカー



補修用部品主体



新車用部品主体



GMBグループの概要

青島吉明美機械制造有限公司 (中国)
 青島吉明美汽车配件有限公司 (中国)
 GMB KOREA CORP. (韓国)
 GMB NORTH AMERICA INC. (米国)
 THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD. (タイ)
 THAI KYOWA GMB CO.,LTD. (タイ)
 GMB (奈良・大阪)

1943 (昭和 18) 年：大阪市生野区で「松岡精工所」創業
 1958 (昭和 33) 年：ユニバーサルジョイントの輸出開始
 1962 (昭和 37) 年：株式会社浪速精密工業所設立
 1976 (昭和 51) 年：米国子会社設立
 1979 (昭和 54) 年：韓国子会社設立
 1983 (昭和 58) 年：奈良工場(現本社)建設
 1989 (平成 元) 年：GMBに社名変更
 1996 (平成 8) 年：中国子会社(青島GMB)設立
 2001 (平成 13) 年：タイ子会社設立
 2003 (平成 15) 年：ISO9001認証取得
 2004 (平成 16) 年：大証二部上場
 2006 (平成 18) 年：中国子会社(即墨GMB)設立
 2009 (平成 21) 年：タイ関連会社(TKG)設立



GMBの主要取扱製品

駆動・伝達・操縦装置用部品: 売上構成比 46%

⊕ユニバーサルジョイント



⊕ステアリングジョイント



⊕バルブスプール



⊕サスペンション部品



注) 構成比は
2011/3月期

エンジン部品: 売上構成比 29%

⊕ファンクラッチ



⊕ウォーターポンプ



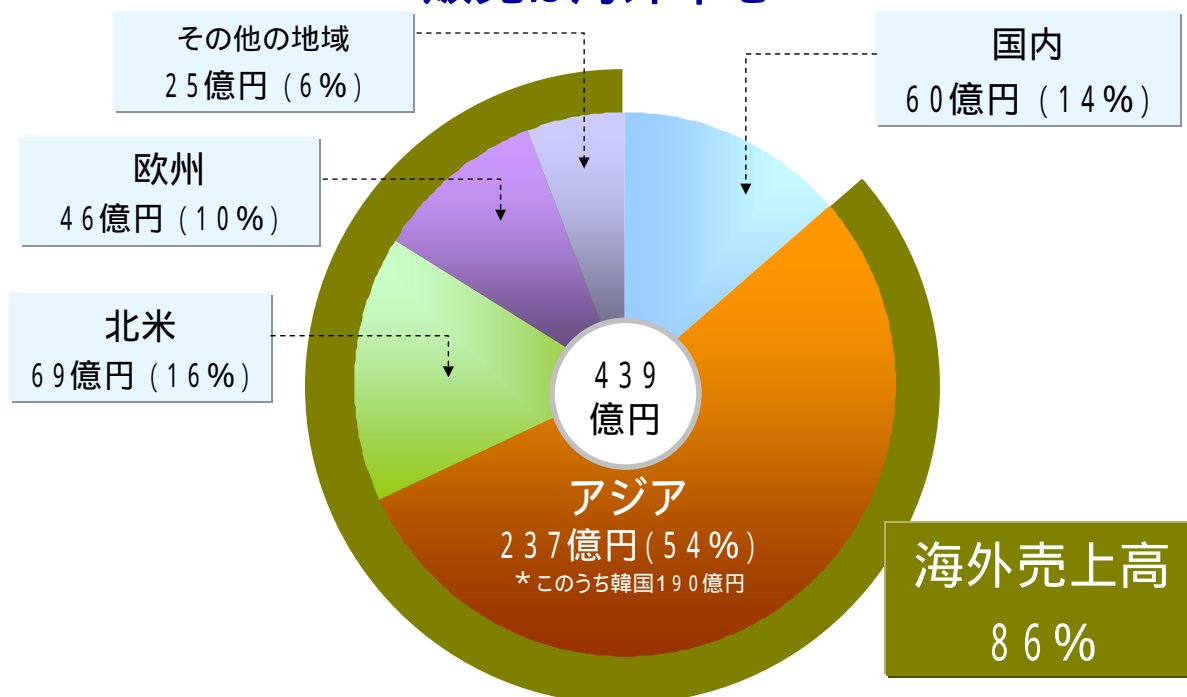
ベアリング他: 売上構成比 25%

⊕テンショナー&アイドラ・産業用



生産・販売ともにグローバルに展開

販売は海外中心



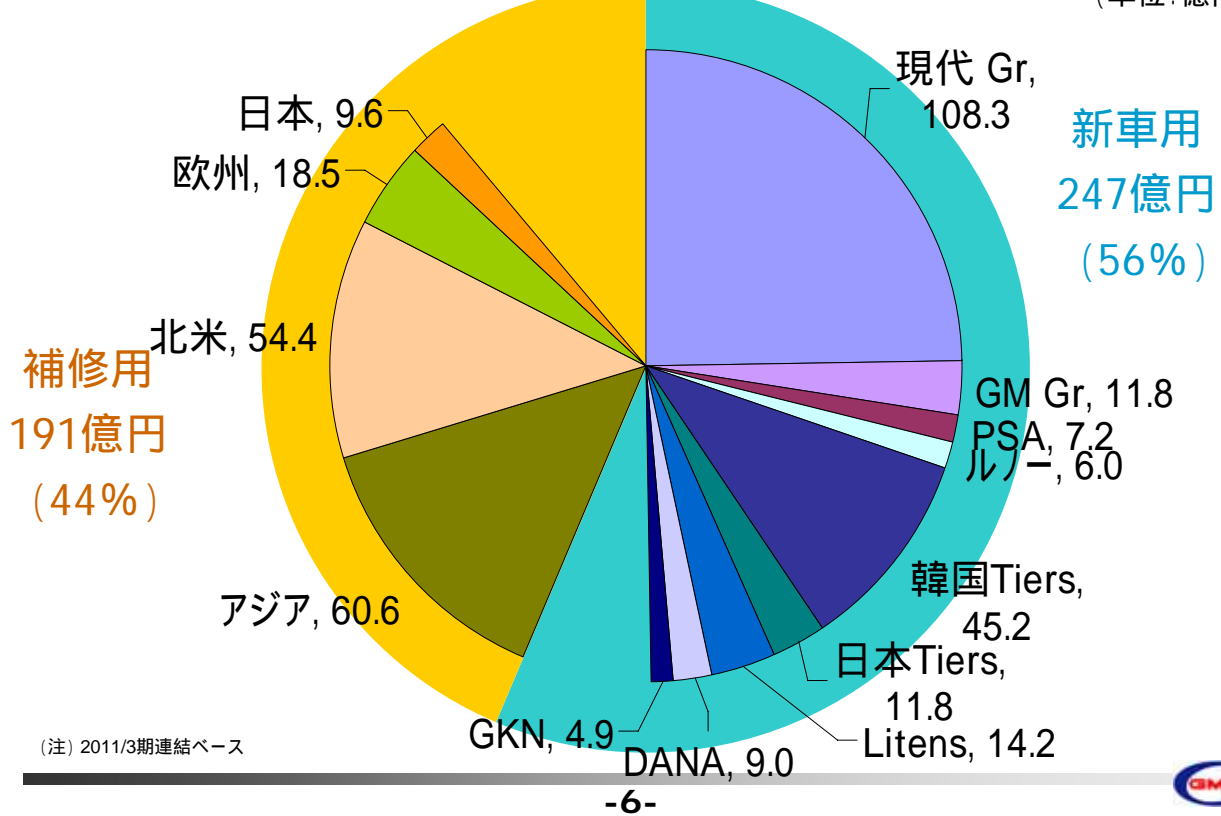
(注) 2011/3期連結ベース、括弧内は構成比



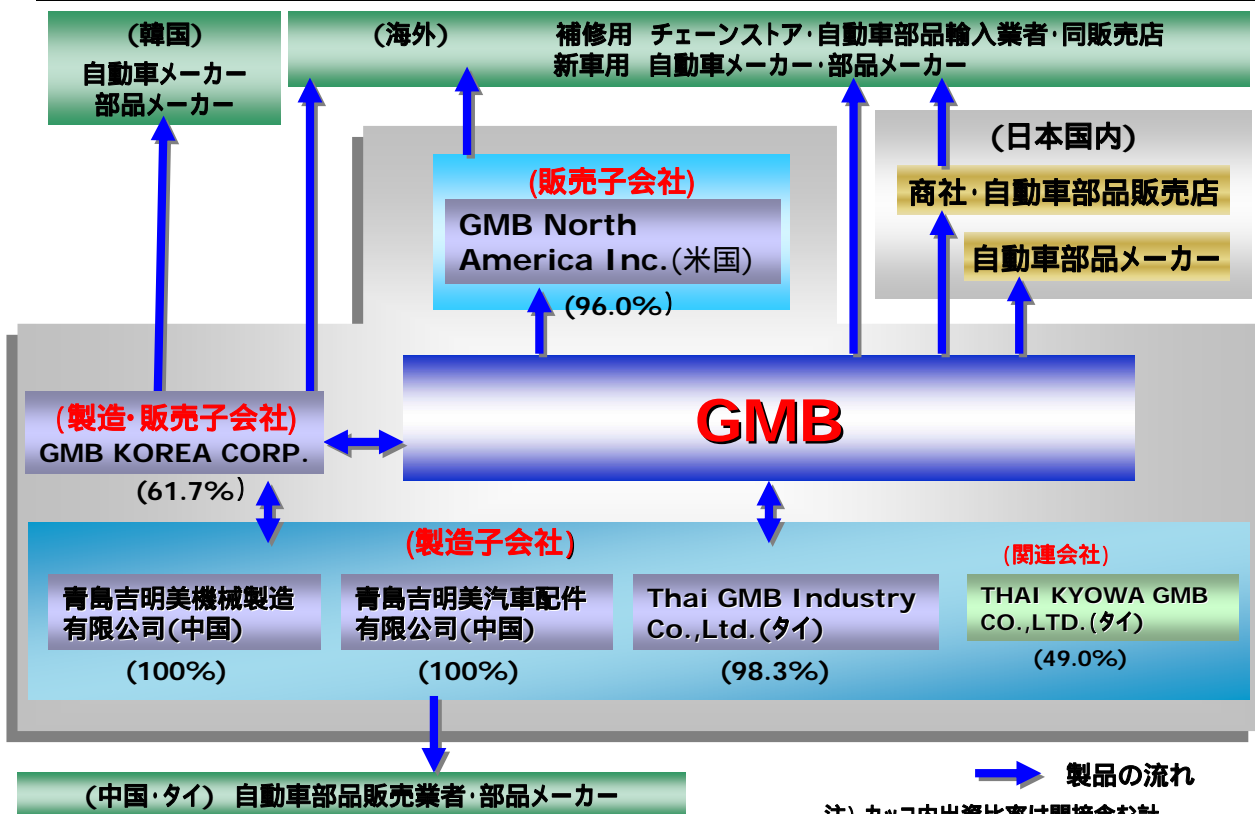
生産・販売ともにグローバルに展開

OEM相手先&補修用地域別売上構成

(単位:億円)



生産・販売ともにグローバルに展開



特徴 海外補修用市場でブランド確立

海外市場

年間走行距離も長く、クルマは壊れることが当たり前
 簡単な部品交換はDIY(自分で修理する)ユーザーも少なくない
 道路や水質など使用環境の苛酷な途上国では交換需要はさらに増加
 日本車は完成車メーカーの海外展開と中古車輸出で増加



いち早く海外市場へ目を向け市場を開拓・ブランド確立



海外顧客向け弊社「News Letter」

【参考】 補修用部品の交換需要関連データ

	乗用車 保有台数 (万台)	年平均 走行距離 (km)	車齢10年 を超える 保有数	平均車齢 (年)
日本	4,206	9,896	13%	5.84
米国	18,319	18,870	40%	8.30
フランス	2,748	14,100	30%	7.50

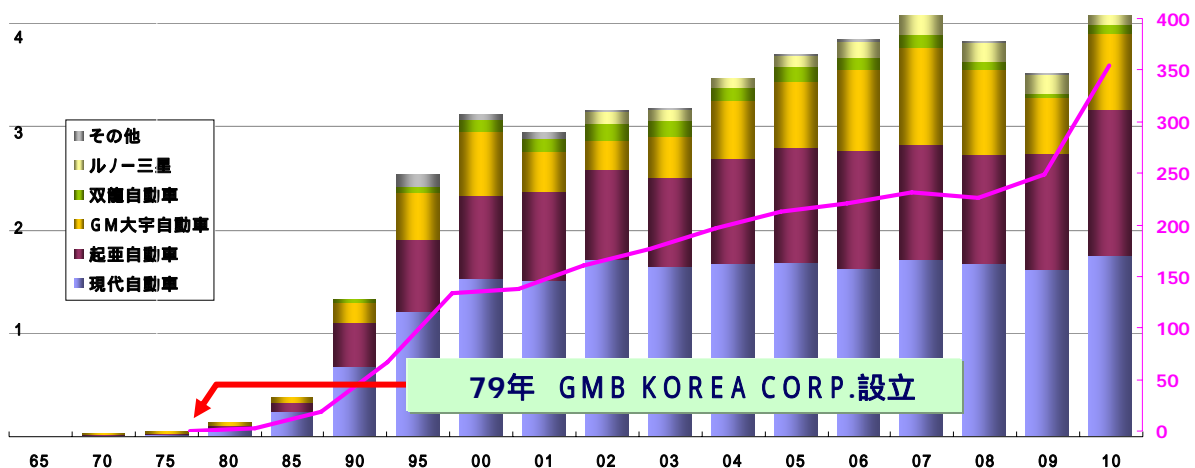
2002年3月JETRO「対日アクセス実態調査報告書(補修用自動車部品)」より



特徴 現代・起亜自動車とのつながり

- 韓国自動車黎明期の1979年に進出し国産化に貢献
- 現代自動車グループへの売上高比率27%(11年3月期)
- 韓国車は米国・新興国を中心に海外市場で販売好調

(単位:百万台) 韓国自動車生産台数(棒グラフ)と GMB KOREA CORP. の売上高(折れ線グラフ)の推移 (単位:10億W)

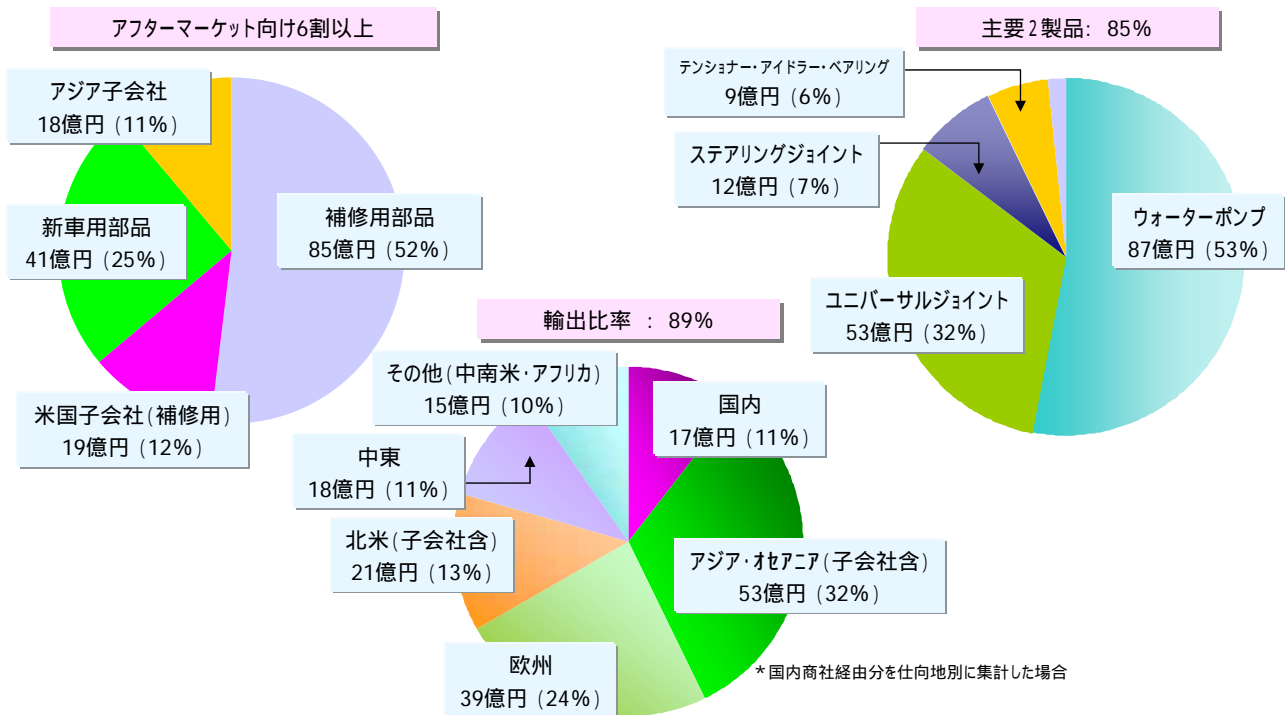


(出所) 韓国自動車工業協会、日本自動車工業会「世界自動車統計年報」



GMBは主に補修用市場にW/P・U/Jを販売

GMB(個別)売上高構成 (11年03月期 164億円)



GMB KOREAは韓国内OEM供給が主体

GMB KOREA CORP. 売上高構成 (10年12月期 269億円)

